

ふじかわ

町のメモ

昭和59年4月1日現在
 人口 17,020人
 増減 +3人
 男 8,377人
 女 8,643人
 世帯数 4,362世帯
 面積 31.09km²

富士川町 総務課

4月号 昭和59年4月20日発行 No.273



ガンバレ!!

ピカピカの新入園児

(第一幼稚園新入園児)

町のこころの目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

おもな内容

- 2～3ページ 昭和59年度一般会計予算
- 4～5ページ 昭和59年度の重点施策・事業
- 6～7ページ 4つの特別会計
- 8～9ページ 町のわだい
- 10～11ページ 広報ディスカッション「私の趣味」
- 12～13ページ ママさん記者訪問記
- ふるさと探訪 石仏巡礼
- 14ページ 戸籍の窓

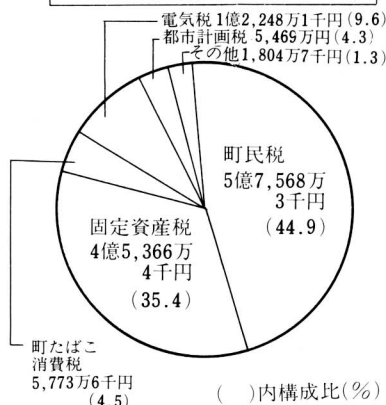
富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて明るい家庭をぎずぎましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって町の未来をひらきましょう。

昭和59年度一般会計予算

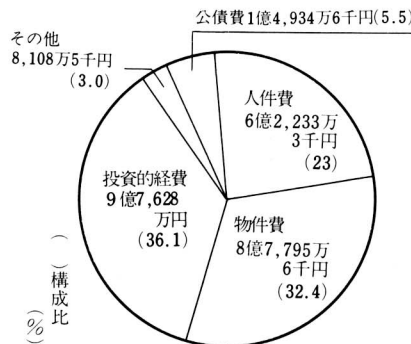
27億700万円で

町税12億8,230万1千円 の構成



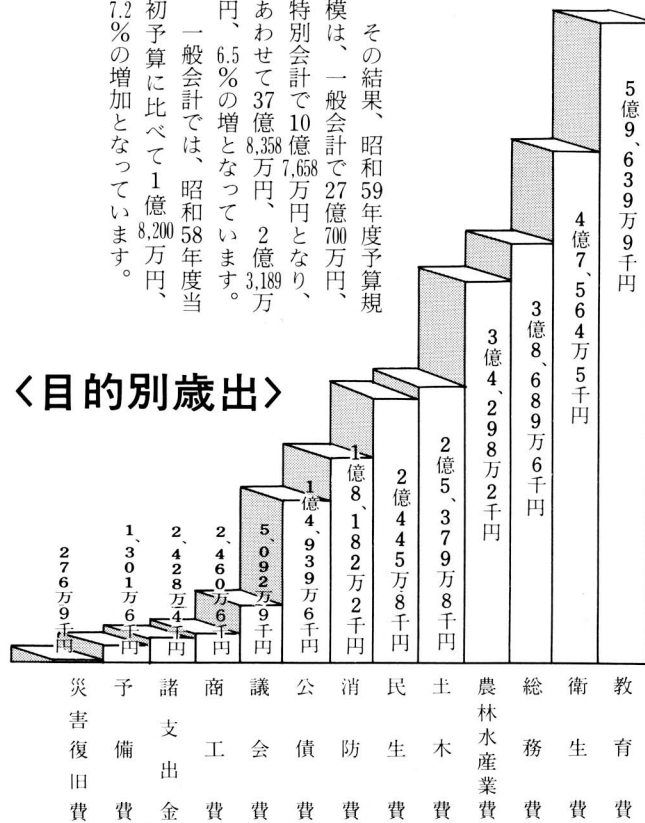
人件費や物件費を抑えて
公債費は町の元利金として、その支払が毎年増えつつ出てきました。ここ数年、町債の発行を極力おさえてきましたので、公債費は減額となりました。また、人件費、物件費は極力節減を努めることにより、その額を抑制しました。

歳出27億700万円を性質別に見ると



その結果、昭和59年度予算規模は、一般会計で27億700万円、特別会計で10億7,658万円となり、あわせて37億8,358万7千円、2億3,189万6千円、6.5%の増となっています。一般会計では、昭和58年度当初予算に比べて1億8,200万円、7.2%の増加となっています。

<目的別歳出>



昭和59年度特別会計の予算規模

会計名	59年度 当初予算	58年度 当初予算	比較	
			増減	伸び率
土地取得	7,892万円	5,956万円	1,936万円	32.5(%)
国民健康保険特別	4億6,240万円	4億5,632万1千円	607万9千円	1.3
水道事業	2億4,335万8千円	2億1,260万1千円	3,075万7千円	14.5
老人保健特別	2億9,190万5千円	2億9,820万2千円	△629万7千円	△2.1
合計	10億7,658万3千円	10億2,668万4千円	4,989万9千円	4.86

△……減

スタート

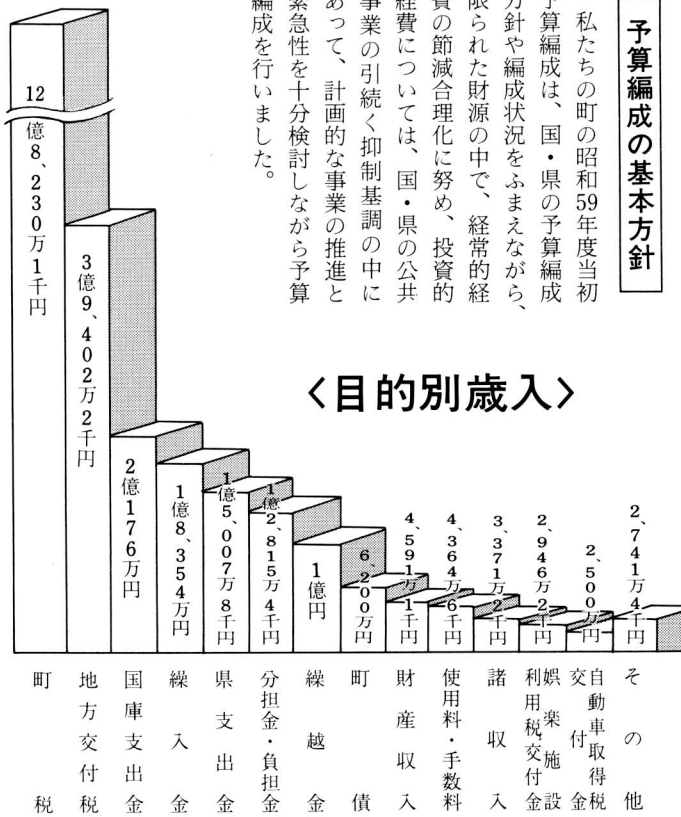
町議会の3月定例会が、3月12日(月)午前9時から12日間の会期で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和58年度一般・国民健康保険特別・老人保健特別会計補正予算、昭和59年度一般・土地取得特別・国民健康保険特別・水道事業・老人保健特別会計予算や交通遺児基金条例の制定について、手数料徴収条例の一部を改正する条例について、町立保育園条例の一部を改正する条例について等23議案を審議し、すべて原案どおり可決し、3月23日(金)に閉会しました。

今月号では、昭和59年度の重点施策と、これを反映した昭和59年度一般会計予算と、4つの特別会計予算を中心に「私たち町の台所」をみなさんに紹介します。

予算編成の基本方針

私たちの町の昭和59年度当初予算編成は、国・県の予算編成方針や編成状況をふまえながら、限られた財源の中で、経常的経費の節減合理化に努め、投資的経費については、国・県の公共事業の引続く抑制基調の中にあつて、計画的な事業の推進と緊急性を十分検討しながら予算編成を行いました。

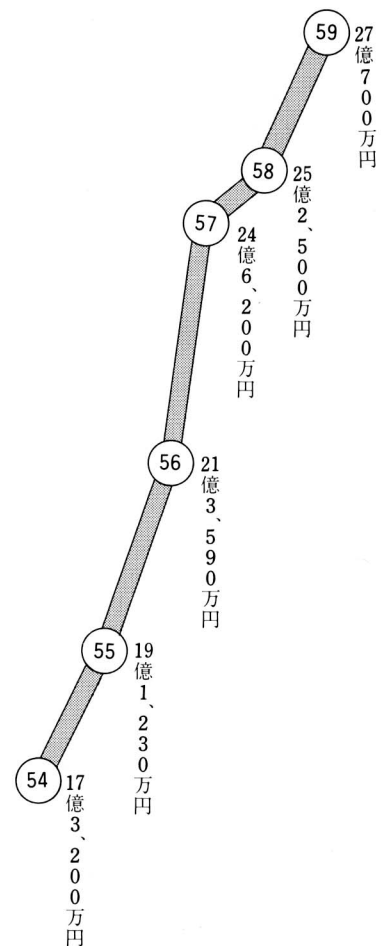
<目的別歳入>



自主財源と依存財源の内訳

依存財源 8億8,842万2千円 (32.9%)		自主財源 18億1,857万8千円 (67.1%)	
地方交付税	3億9,402万2千円	町税	12億8,230万1千円
国庫支出金	2億176万円	負担金・分担金	1億2,815万4千円
県支出金	1億5,007万8千円	使用料・手数料	4,364万6千円
交通安全対策特別交付金	210万円	繰入金	1億8,354万円
町債	6,200万円	繰越金	1億円
地方譲与税・その他	7,846万2千円	諸収入・その他	8,093万7千円

一般会計当初予算の推移

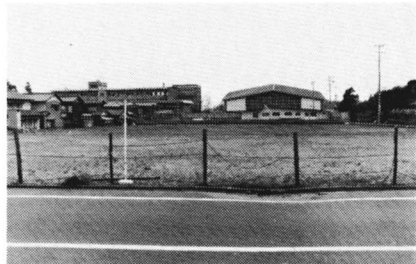


昭和59年度の重点施策

生涯教育を目指す

「コミュニティづくり」

待ち望んだ町民総合センターの機能を有する中央公民館の建設が開始され、社会教育とコミュニティづくりの中核として位置づけられる他、一小裏山の第一公園整備事業、富士川緑地事業の推進、地区公民館建設事業補助金や地域社会学習への補助等を予算化しています。



昭和60年10月にはりっぱな中央公民館が

安全で住みよい町づくり

住民要望の多い道路・河川の維持改良、上町小山線、市場清水線県委託工事、耐震補強工事等大型事業の継続、安全な町づくりを推進するため、がけ地、

耐震防火貯水槽、防災行政無線工事等の防災工事、庵原地区消防組合負担金、等住みよい富士川町のイメージを今後とも維持するための幅広い予算化をしました。

きめこまかい福祉を

福祉対策は弱者対策でもあり、きめこまかいことにも配慮し、福祉事業を後退させない基本的な考え方に立ち、精神障害者医

療費助成の新設、町社会福祉協議会補助金、子どもや老人がふれあいを深める場としての施設の管理、国保会計、老人保健会計への繰出金等を予算化しています。

昭和59年度のおもな事業

総務費

3億8,689万6千円

この予算は、総務課、管理検査課、出納室、税務課、民生課(住民基本台帳費)、選挙管理委員会及び監査委員の経費です。

基金積立金

● 町営駐輪場用地購入費
● 交通安全対策事業

民生費

2億445万8千円

町民のみなさんが一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費です。
● 富士川町社会福祉協議会事業補助金
● 国民健康保険特別会計繰出金
● 四保育園運営費
● 児童措置費

衛生費

4億7,564万5千円

町民のみなさんが健康に生活し、衛生的な生活環境を保持するための経費です。
● 蒲原病院組合負担金

土木費

2億5,379万8千円

快適な生活環境をつくる

● 庵原郡環境衛生組合負担金
● 中野宅造内主要道路埋設下水管布設工事委託料

農林水産業費

3億4,298万2千円

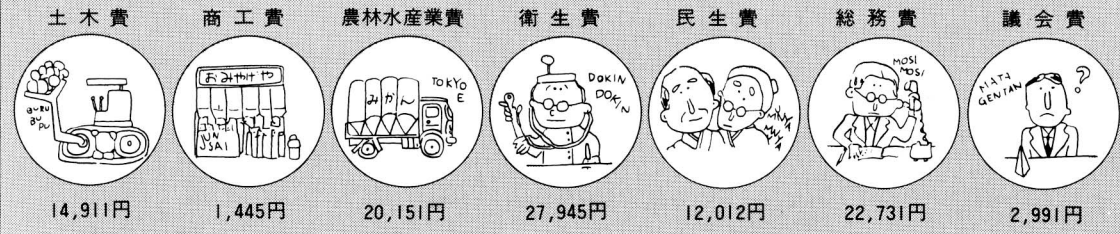
豊かな町民生活を支える農林振興対策として農林基盤の整備に努め、農林道の整備、自然とのふれあいを推進することを目的とした予算です。
● 農免農道外農業基盤整備事業

商工費

2,460万6千円

● 林道開設事業、野田山保健休養林造成等
● 土地改良農道工事元利補給
● 商工業の振興・観光事業が主なものであり、中小企業者への振興費等を計上しています。
● 県信用保証協会貸付金
● 野田山健康緑地管理委託料

私たち一人当たりどれくらいのお金が



健康で清潔な町づくり

乳幼児から成人までの集団検診、相談、地域健康づくり等の推進、健康で清潔な町づくりの

憩の場として野田山保健休養林造成、側溝、甲蓋工事の計画的な推進、共立蒲原総合病院、庵原郡環境衛生組合負担金を予算化しています。

農免農道の継続を中心に農道用排水路、林道等農業基盤整備と地場産業を中心とした農業活性化を目的としての事業補助、商工業については、商工振興に果す役割の大きい商工業委託金の増額等を予算化しています。



重点施策を説明する町長

町職員の異動(×付)

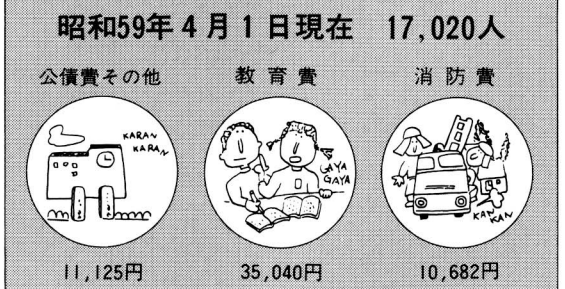
◇課長 (新職)
学校給食センター 野口政義 (旧職) 環境衛生課 課長 兼学給セ所長
教育課 丸山博康 (参事に昇格) 民生課長 補佐
民生課 池谷勲夫
◇課長補佐 (昇格)
総務課 佐藤志郎 総務課主幹
税務課 小沢勝巳 税務課
民生課 深沢尊明 民生課
教育課 平岩康夫 教育課

◇主幹 環境衛生課 村野幸三 教育課
民生課 小林延江 民生課係長
総務課 斉藤資子 出納室
◇主査 建設課 神戸玉清 産業振興課
建設課 (昇格)
建設課 平野孝之 建設課主事
民生課 植松三樹雄 民生課
産業振興課 望月正司 総務課
環境衛生課 渡辺高秀 税務課
出納室 金山幸子 民生課

総務課 望月久世 学給セン
管理検査課 高岡英二 ター
民生課 若月るみ子 水道課
水道課 関原由美子 総務課
議会事務局 塩坂慶子 教育課
教育課 遠藤美恵子 学給セン
一 小 星崎政江 ター
(出向)
郡環境衛生組合 高塚信夫 管理検査課
郡環境衛生組合 木本美代子 学給セン
生組合 ター
◇保育園 (職名変更)
岩淵保育園 久松としゑ 岩淵保主
園長 任保母

北松野保 錦織和子 北松野保 主任保母
育園長 松千代保 松千代保 主任保母
育園長補 望月靖子 松千代保 主任保母
本通り保 遠藤節子 本通り保 主任保母
育園長補 主任保母
◇保育園保母 北松野保
松千代保 望月容子 育園
育園 松千代保
岩淵保育園 望月和代 育園
北松野保 木伏治美 岩淵保育園
育園 植松旦子 岩淵保育園
民生課主事 岩淵保育園
◇県への派遣 静岡土木 佐藤博 管理検査課
事務所

◇県からの派遣 静岡土木 事務所
建設課主幹 石川貴久
◇人材派遣社会教育主事 小
教育課主幹 本荘隆道
◇新採用 雨宮徹
税務課 松永さつき
環境衛生課 大島具視
教育課 大島具視
◇県からの派遣解除 建設課
事務所 山梨重治
一 小 宮川和久 教育課
◇退職 野沢かよ子
本通り保育 熊沢茂
園調理員 小美郷
一 幼教諭 小林美郷



区 分	予 定 額
資 本 的 収 入 合 計	7,625万円
企 業 債	2,000万円
工 事 負 担 金	4,530万円
補 助 金	1,095万円

(収入)
資本的収入及び支出

区 分	予 定 額
資 本 的 支 出 合 計	1億3,049万7千円
建 設 改 良 費	1億2,130万円
企 業 債 償 還 金	619万7千円
他 会 計 からの 借 入 償 還 金	300万円

(支出)

区 分	予 定 額
水 道 事 業 収 益 合 計	1億4,387万円
営 業 収 益	1億4,124万3千円
営 業 外 収 益	262万6千円
特 別 利 益	1千円

(収入)
水道事業会計

区 分	予 定 額
水 道 事 業 費 用 合 計	1億1,286万1千円
営 業 費 用	1億301万3千円
営 業 外 費 用	984万7千円
特 別 損 出	1千円

(支出)

水道事業会計

私たちの日常生活において、水は大切な資源です。この大切な水を毎日安心して飲料水などとして供給してくれるのが水道事業会計です。

私たちの町でも生活様式の変化などにより、水需要は近年増加傾向にあり、昭和五十九年度の年間総水量は昨年度に比べ七万六千七百十トン増え二百六十三万三千七百十トンを見込み、給水戸数四千五百七十七戸には、一日平均して七千二百六十トンの水が供給されています。

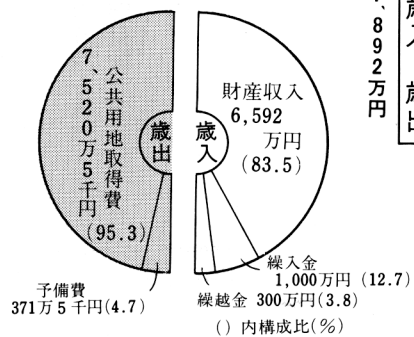
この水道事業特別会計は、収益的収支勘定と資本的収支勘定の二つに分かれています。先に収益的収支勘定からみると、収入が一億四千三百八十七万円となっています。この収入は主にみなさんから納められる水道使用料金や量水器使用料金などであり、支出は人件費や修繕費、減価償却費などがあります。また、資本的収支勘定では収入が七千六百二十五万円で、支出が一億三千四百九十九万円となっています。この収入は県町からの負担金であり、支出は県企業局による富士川住宅団地内の配

水管布設工事やポンプ設備、第三次拡張事業費などが主なものです。このように水道事業会計は、みなさんから納められた水道使用料金などでまかなわれ、一般の企業と同じ独立採算制をとっていますので、みなさんのご協力をおねがいします。

土地取得特別会計

この土地取得特別会計は、予想される公共事業に対して公共用地を先行取得するための会計で、歳入歳出とも七千八百九十二万円となっています。

歳入・歳出



国民健康保険特別会計

家族のだれかが病気をして入院したり、思わぬ事故でケガをしたりしたとき、もし健康保険がなかったらどうなるでしょう。多額の医療費の負担に家族のみならず、生活がすっきりくるっ

区 分	本年度予算額	構成比(%)
国民健康保険税	1億8,874万1千円	40.8
使用料及び手数料	5千円	0.0
国庫支出金	2億4,243万6千円	52.4
県支出金	1千円	0.0
財産収入	444万1千円	1.0
繰入金	800万1千円	1.7
繰越金	1,700万円	3.7
諸収入	177万5千円	0.4
歳入合計	4億6,240万円	100

てしまうかもしれません。会社へ勤めている人やその家族は、職場の健康保険、各種保険、各種共済組合へ加入できま

すが、これらいずれにも入っていない人のために、国民健康保険はあり、保険税を出し合い、いざというときにそなえようとする、わたしたちのくらしにはとても大切な会計です。

区 分	本年度予算額	構成比(%)
総務費	1,620万円	3.5
保険給付費	3億3,579万3千円	72.6
老人保健拠出金	1億14万6千円	21.7
保健施設費	56万6千円	0.1
基金積立金	443万円	0.9
公債費	1千円	0.0
諸支出金	25万2千円	0.1
予備費	511万2千円	1.1
歳出合計	4億6,240万円	100

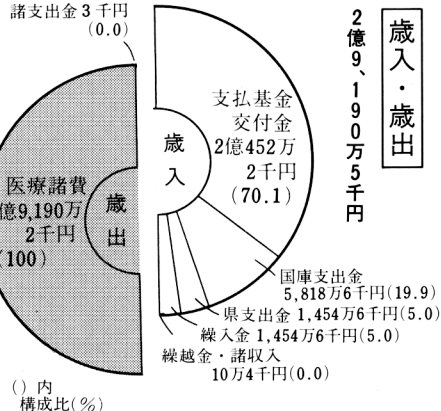
また、支出で最も多いのは保険給付費で総支出額の約七十三パーセントを占め、加入一人あたり約十七万六千八百四円にもなります。このように国保会計は医療費が中心です。本年度も医療費の増加傾向が引続くものと考えられますので、みなさんも医療費の増加傾向の歯止めにご協力ください。

老人保健特別会計

この老人保健特別会計は、高齢化社会にそなえて、70歳以上(寝たきり状態の人は65歳以上)のお年寄りの病氣から治療までを総合的に行うもので、昭和58年2月から実施された会計です。ちなみに町では千六百六十三人のお年寄りがこの老人保健に加入しています。

この会計の歳入歳出の総額は二億九千九百九十九万五千円です。歳入は法に示された負担割合によって、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金などとなっています。また、歳出は病院に直接支払う治療費などにあたる医療諸費が二億八千九百六十八万円で歳出の全体を占めています。

歳入・歳出



教職員の人事異動(1/1付)

転 入 (一)内旧任教

- ◎一 小
 - ◇教諭 ○大多和三千代(飯田小) ○高木久吉(伊東西小) ○古郡恵美子(飯田東小)
 - 山本 俊二(入江小) ○服部 敬子(清水小) ○松家 弓子(三保一小) ○久保田恵子(二小) ○斉藤 典子(二小) ○宮川 和久(町教育委員会) ○遠藤 文朗(新採用) ○佐野 友彦(新採用)
- ◎二 小



遠藤誠教頭

- ◇教頭 ○遠藤 誠(中部教育事務所)
- ◇教諭 ○木ノ内哲雄(蒲原西) ○朝原久美子(由比小) ○県 みわ子(興津小) ○大島 英俊(二小) ○保科 望(新採用)
- 村田 直温(新採用)
- ◇事務 ○間瀬 富子(蒲原東小)



松林隆司校長

- ◇校長 ○松林 隆司(中部教育事務所)
- ◇教諭 ○遠藤 政男(飯田中) ○市川 己利(二中) ○村田 潤(新採用)

◎二 中



鈴木陸弘校長

- ◇校長 ○鈴木 陸弘(清水八中教頭)
- ◇教諭 ○望月 栄子(焼津中) ○松永 令子(新採用)

転 出 (一)内新任校

- ◎一 小
 - ◇教諭 ○佐野 一己(由比小) ○石切山 緑(由比北小) ○神谷久美子(庵原小) ○小林 麻理(袖師小) ○塩坂源一郎(入江小) ○本庄 隆道(町教育委員会)
- ◎二 小

- ◇教頭 ○木伏 辰雄(由比北小校長)
- ◇教諭 ○佐野 清(森下小) ○小野 誠(富士市東小) ○青木久美子(相良小)

- ◎一 中
 - ◇教諭 ○大川 拓男(掛川北中) ○今川 靖彦(清水五中) ○荻野 陽子(蒲原中)
- ◎二 中

退 職

- ◇校長 ○望月 義雄(一中)
- ◇教諭 ○望月スミ江(一小) ○酒井三三子(一小) ○長田 文孝(一小) ○岩田百合子(二小)
- ◇事務 ○佐野 夕子(二小)

婦人民間交通指導委員が誕生

交通安全を家庭内で「しつけ教育」の中心な立場にある主婦層を通じて強力に進めていくことを目的として、4月1日から交通安全協会富士川分会に婦人部が発足し、4人の婦人民間交通指導委員が誕生しました。4月6日から実施された交通安全運動で、さっそく街頭指導に出て大活躍しました。

交通安全協会富士川分会婦人部・婦人民間交通指導委員

(敬称略)

- ◇斉藤 協子(旭町) ◇田中ヨシ子(四十九町) ◇多芸 弘子(南町二) ◇長橋 孝子(富士松野)



写真 向かって左側から田中・斉藤・多芸・長橋さん

子ども会育成活動で若林さんらに感謝状が

静岡県子ども会連合会 結成30周年記念大会」が、3月11日(日)静岡市民文化会館で、子ども会関係者など約1,000人が出席して行われました。席上、長年にわたり地域子ども会活動で指導的な役割をはたし活躍してきました次のみなさんの功績に対して、同会の会長から感謝状が贈られました。

- ◎県子連会長感謝状 (敬称略)
○子ども会育成者の部
若林 茂信(日の出町)
田辺 水子(南町二)
○子ども会関係者以外で協力者の部
斉藤 久男(東町二)
○子ども会事務局職員部の植松三樹雄(坂下)

化学車の役割を持つ消防自動車

3月10日から、富士川消防所の消防自動車に、化学車の役割を持ち、特殊火災にも対応できる新型車になりました。

この新型車の配置は、以前使用していた車が昭和46年に購入されたもので、使用に耐えられなくなったことや、消防施設の充実をはかることを目的に行われました。町内では、3月以降住宅火災などが2件発生しています。みなさんも火の取り扱いには十分注意してください。



薬液槽(230ℓ)などを備えた新型消防自動車

岐阜県からの風船が深沢さんの手に

岐阜県中津川市立落合中学校で、3月13日卒業式の記念行事として上げた風船が、3月16日深沢昇さん(八幡町)に無事拾われました。

深沢さんは「この風船には、4人の女生徒の高校入試合格祈願が書いてありましたので、さっそく連絡しましたところ、とても感激していました。今年の5月5・6日に同



深沢さんにお礼の手紙が中学校の近くの馬籠へ行く予定でしたので、何か因縁があるのかびつくりしました」と話していました。

郡社会福祉大会で瀧さんらが表彰される

「第7回庵原郡社会福祉大会」が、3月22日蒲原町文化センターで開催され、長年に亘り社会福祉事業の推進などに積極的に協力・援助し、活躍してきた次のみなさんが表彰を受けました。(敬称略)

- ◎大会々長表彰
○社会福祉事業協力者の部
◇瀧 利雄(舟山町)
◎庵原郡社会福祉協議会長表彰
○民生児童委員の部
◇石川 幸男(俣下町) ◇森中 鉄雄(新町本町)
◇斉藤 万平(旭町) ◇尾崎 光子(本通一)
◇常盤 登(木島) ◇植松 勝子(舟山町)
○身体障害者自立更生者の部
◇宇佐美多一(清水町)
○母子世帯自立更生者の部
◇太田 恵子(舟山町)

第一回町民マラソンに約150人が参加

町民の健康増進と体力づくりを目的に「第一回町民マラソン大会」が、3月20日第二小学校グラウンドを主会場に、南松野地区15歳から5歳のコースで盛大に行われました。

当日は、小雨が降るあいにくの天気でしたが、参加者約150人は、おたがいに汗を流しながら一生懸命走り抜きました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

- ◎小学低学年男子の部 (敬称略)
①佐藤 文彦(二小三年)
◎小学低学年男子の部
①前田 健司(静岡市)
②長谷川健司(坂下)
③鶴田 勝志(富士市)
④五キロコース女子の部
①望月きぬ子(本通三)



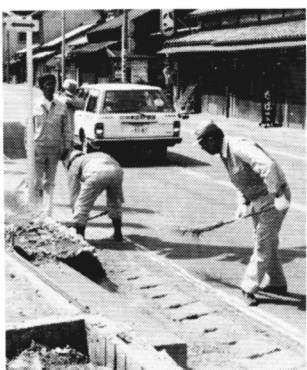
元気よくスタート

わだいの

砂利業者が道路清掃を

砂利業者やダンプ運転手による道路清掃が、3月31日、4月7・8日、国道一号线富士川橋交差点から富士川身延線口和間3歳で行われました。

この道路清掃は「みなさんに迷惑をかけるので」と春の交通安全運動にあわせて行われ、約40人の運転手などはスコップを手には、路肩にたまった土砂などを汗を流しながら一生懸命に取り除きました。当日参加した役員さんは「だれがごぼしたというのではなく、みなさんにご迷惑をおかけしていますので実施しました。とにかくきれいになって、とても気持ちよいです。今後、秋の交通安全運動でも実施していきたい」と話していました。



清掃作業にとりくむ業者のみなさん

三月の子ども・老人の事故多発

3月町内では、人身事故7件(4)、物損事故8件(8)、合計15件(12)の交通事故が発生し、7人(4)が怪我をしました。(一)内は昨年)

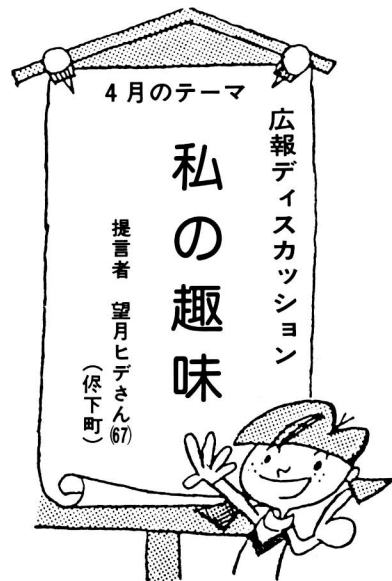
発生した15件の事故を路線別に見ると、国道一号线1人身事故1件・物損事故2件、富士川身延線1人身1件・物損4件、町道1人身5件・物損2件です。これらの事故のうち人身事故の原因は、運転者の安全速度義務違反、わき見運転、安全不確認などで、子どもや老人の関与した事故が多かったのが3月発生した事故の特徴です。

「春の全国交通安全運動」が4月6日から15日の10日間行われ、正しい交通ルールとマナーを実践するよう強力なはたらきかけが行われました。運転に過信することなく安全運転を心がけましょう。

地震ひとロメモ 警戒宣言時の家庭の対策II

警戒宣言が発令されたら、情報確認、火の始末をした後、家の中の整理も忘れずに。家族であらかじめ決めた役割に従って行動するが、まず棚の上の荷物を降ろし、家具などを倒れないようにする。窓ガラスにはガムテープを張り、出入口を確認する。消火器、バケツに水を入れ、飲料水の確保も。活動しやすいような服や靴に着がえ、頭を保護する防災ズキンなども忘れずに。

非常持ち出し品の中には、家族三日分の食糧、預金通帳、印鑑、トランジスタラジオ、懐中電灯、寝袋、毛布、飲料水、救急薬品を。



被服費がばけて人形作り

東町二 大村梅子さん(55)

私の趣味といえば、10数年来の人形作りと毛糸の動物作りだろうか。ヤクルトの容器廃品のヒモや毛糸を利用して上げる。役所の机上のアクセサリーに、病人の枕元に、台所の片すみにと重宝がられています。

年々歳に追われるが如く人生の半生も過ぎ初老の域に入り、何するすべもなく、一日一日をむなしく過すも淋しく、また、わびしく思う今日この頃です。

わが家の嫁の花嫁姿を眺めうれしさをそのままに再現してみようと1mの花嫁さんを作り、玄関に、棚の上にと眺めています。

嫁ぎ行く人に白い綿ぼうし、

和紙に魅せられて
和紙人形作り
八幡町 西森千鶴江さん(60)

私と和紙人形との出会い、それは4年前、ある知人宅でケース一杯に並べられた色とりどりの人形を見た時です。素朴な、そして可憐な人形たちは、何んとも楽しい雰囲気を出していました。早速、同好の友6人集まって稽古に取り組みました。月二回、一体ずつ作り上げる楽しさ、ちょっとした首の



われるのです。和紙独特の色柄、そして温かみのある感触にすっかり魅せられてしまいました。

最近、松野児童館の常盤先生のお骨折りで、母親クラブのお母様、手芸クラブの子どもたちと一緒に和紙を使った小物作りをいたしました。和やかな中にも真剣に取り組む子どもたちの姿に接し大変うれしく思いました。私の未熟な趣味ですが、地域の皆様との触れ合いの場として、少しでもお役に立てば幸いです。

心がうごく読書

清水町 久保田澄子さん(28)

趣味を得ることは、単に何が得意なことではなくて、その過程の中で自分の心に、何を積み上げるかということだと思えます。ちょうど自分のふとんが、一番良く眠れるように、刻の流れの中に、知らない間に、馴染んでくる自分の体臭の安らぎのようなものではないでしょうか。収入のために、外で働くことは、時間を抱束されるだけでなく、精神すら組織のわくに、はめ

5月のテーマ
わが家の保存食作り



望月千代子さん(62) (宮町)

富士山の麓で育った私は豊かな自然の恵みと共に、幼時より母や祖母の作る田舎の味に親しんできました。手作りの味噌、醤油、紫蘇の実佃煮、ラッキョー漬など、ことに家業の酒造りの副産物酒粕で作る越瓜の奈良漬は酒蔵のタンクに溢れる清水に一銭銅貨で種をくり抜いた瓜を浮かして、子ども時から毎年手伝わされたものでした。

歳月が流れ、保存食、加工品との出逢いは昭和53年度農協婦人部長が突然まわってきた時点に始まったと思えます。

私の保存食作りは――

4月以降、グリーンピース冷凍、伽羅蒟蒻詰、蒟蒻詰、蒟蒻に限り掘りたてと日を経たものでは味が格段の相違があります。

られます。

こんな日常の中で、私は本を読んでいると、閉ざされていた心が、次第に大きなやさしさに包まれて広がっていく気がします。心はこの身体のどこかに、エネルギーをためて、座っています。それがあの日、思いもかけない程、グラッと動くことがあります。

動かなければ気がつかない、だけどそれはある日、とんでもない力で音をたてるのです。そんな時、いつも私は、すばらしい一冊にめぐりあっています。

ぼくの趣味は鉄道!!

一小六年(相生町)幸塚直樹くん

みんなから「趣味は何」と聞かれてみれば、いろんなことがあります、がやっぱり「鉄道」が一番よいといえます。

それは、小学校に入学する前にはもう電車に乗りたくてどうしようもなかったし、今でもブルートレインや特急電車が、ふみきりを通るのを見ると、その場で立ち止まって行ってしまふのをずっと見ているくらい電車が体の中に住みついていてから

だと思えます。

三年生になるとサツカーなどの試合で、電車を使って行く日が多くなってきました。ぼくはお金がかかるけど、自分自身の心の中では、「うれしいな……楽しいな」といろんな気持ちで出て行ったと思えます。

もう、ぼくは6年生です。今年、高校野球で優勝した岩倉高校(東京都)は鉄道学校で、鉄道のことでだけでなく、野球でもがんばっていました。

ぼくも「鉄道」が趣味のじかくを持ち、この趣味が本気になるように鉄道学校を出て、鉄道員になれるように、これからはがんばっていききたいと思えます。

サツキ作りが

私の趣味です

木島 宇佐美佳章さん(34)

私がサツキをやり始めたのは8年前、ちょうど長男が生まれた年です。誕生記念に何かしようと思っていた矢先、叔父がサツキをやっていたのを思い出した花の魅力に取り付かれたのがきっかけです。それまでは趣味などなく、毎日パチンコをやるのが、唯一の楽しみでした。

花の咲いている時期は短いですが、毎日の水やり、月に数回の予防、定期的に肥料をやり植替え、花つみ、せん定と、手を掛けてやれば花の時に、樹全体に花が咲き、一年の苦労が実ります。

会社から帰って来て棚を見ると、心が落ち着き、樹が話しかけてくるようです。現在は愛好会に入っていますが、仲間とサツキ談話や、樹作りをしている時が最高に幸せです。



趣味を持って若さを保つ

本通三 池谷せつ子さん(50)

私が民謡と三味線を習い始めて、はや10年になります。自分でもよく続いたものだと思います。いつもは何をやっても三日坊主で、すぐ何かいい訳をつけてはやめてしまうからです。なぜ続いたのかなと考えますと、鳴りものであり、一人でも、どこでも弾けるし、それにつれて歌も覚えられるし、また、いやになれば弾かなければすむし、強制されないからです。お友だちとも共通の話題で話がはずみます。

少し自信がついてくると、みんなの前で歌いたいなと思えます。また、それが励みとなり一生懸命勉強します。それから：そうそうもう一つ、手と頭、耳と三拍手揃った適度の緊張感が若さを保たせてくれるように思えます。

趣味を持っているということは、心の中まで満たされ、嫁、孫、姑の仲もますます円満で楽しい日々を送っております。

投稿者へ

5月のテーマ

わが家の保存食作り

◎字数

400字づつ原稿用紙一枚以内

◎締切り日

5月7日(月)まで

◎投稿先・問合せ先

富士川町役場・総務課

◎注意事項

住所・氏名・年齢を明記して、締切り日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



さくら台幼稚園 交通安全母の会

防止する目的で、発足しました。全国的な組織である「交通安全母の会」に加入、事務局は同園に置き、会長はPTA副会長が兼任しておりますが、59年度からは独立した組織となります。活動内容は、

- 正しい交通安全思想の普及と広報活動
- 町の行なう各種交通安全運動への参加
- 交通安全に対する研修会、講習会
- 交通事故防止に関する研究、実践の推進
- その他、会の目的達成のため必要な事業を行なう

最後に「この会が当町では、さくら台幼稚園にしかありません。三年間だけの活動で終わってしまうのは残念です。ぜひ他の幼稚園、保育園も参加し、小学校、中学校と続けて行き、地域の協力も受け、何年後かには、『富士川町交通安全母の会』として、子どもを持つ母親が全員参加の会となるよう、幼児から老人まで、交通安全を願う母の心を知らせ、広めて行きたいと思っております」と話しておられます。「今年は目立とう！」です。

広報モニター 天野恵美子

新入生を祝福するかのようには花開く桜も、例年になく寒さのため遅れています。せめて名前だけでもというわけではありませんが、私たち広報モニターは、4月3日、その名も「さくら台幼稚園交通安全母の会」の大沼生子さん、佐野英子さん、PTA会長の齊藤純代さんをお招きし、同会の主旨、活動等についてのお話をうかがいました。同会は、昭和54年PTA活動の一環として、正しい交通ルールとマナーを実践づけ、また、町民に対しても、交通安全思想の高揚を図り、交通事故を未然に

防止する目的で、発足しました。全国的な組織である「交通安全母の会」に加入、事務局は同園に置き、会長はPTA副会長が兼任しておりますが、59年度からは独立した組織となります。活動内容は、

- 正しい交通安全思想の普及と広報活動
- 町の行なう各種交通安全運動への参加
- 交通安全に対する研修会、講習会
- 交通事故防止に関する研究、実践の推進
- その他、会の目的達成のため必要な事業を行なう



さくら台幼稚園入園式で、母の会主催による交通安全祈願の風船上げ風景

社会教育(地域学習)の課題 —生きがいの創造—

派遣社会教育主事 本 莊 隆 道

いわゆる人間はこの世に生を受けて以来、その一生を終えるまで学習を忘れてはならない。ところで、学習とはむずかしいいえば、経験を通過して新しい知識や技術を習得することです。ひらたくすれば、学ぶことなのです。

知識に限度はありません。技術は行くつくところを知りません。知識は人の心を豊かにしてくれます。技術は人のくらしを高めてくれます。その知識を、技術をその人の経験をもつて習得しようとするところに大きな意味があると思えます。

具体的にいえば、幼児が箸を使って食事をするのができるようになるのは大きな学習の結果ですし、お年寄りがゲートボールのルールを覚えることも立派な学習の成果だと思えます。もちろん、箸を使わずとも食事は可能です。ゲートボールのルールは知らずとも最後の楽しみはあると思えます。しかし、幼児もお

年寄もそのことができるようになることによって、広がる生活は大変なものだと思えます。私たちは、学習と聞くと何か難解な文字を相手に顔にしわよせて考えるものと思いがちですが、かつしてそうではありません。あくまで自分のため自分の生活のためにあるものです。今すぐ、明日からでも何も準備しなくてもやろうと思えばすぐにできるのです。ひとりて進めることもできます。仲間を募って楽しみあうこともできます。

その「やろう」「やりたい」「心を生きたい」と考えたいと思えます。時には、他から働きかけられることもあると思います。しかし、最終的には、自分のために自分で決めることなのです。私たちは、ややもすると現状に満足し、学習意欲を失いがちですが「生きがいを創る」意欲・努力を持ちつづけたいと思うのです。

(今月号から、本荘隆道町教委派遣社教主事の「社会教育の課題」を掲載していきます)

ふるさと探訪

石仏巡礼(六)

漆野の庚申塔
十干と十二支が組み合わされて出来る庚申は、60日に一回、60年に一回巡ってくる。この日並びにこの年を庚申といい、中国の道教の教えのなかにある三尸説により、この夜を寝ずに語り明かす庚申信仰は古く平安時代に始まり、江戸時代になって庶民の中に急速に広まっていった。そして庚申の日には村人が一堂に集り酒食を共にし夜を徹して語り明かして親交を深め、又60年に一回の庚申の年には供養のための塔を造立している。町内にも数多くこの種の塔が造立されているが文字塔のみで像を刻んだものは少ない。



南松野漆野の背後から池野・粒良野へ通ずる小さな峠に町内唯一と思われる青面金剛像を刻んだ庚申塔が建立されている。総高146cm 宝篋印塔型の塔に一面六臂の青面金剛が浮彫りされている。願主の記銘はないが、嘉永二西九月吉日(1849)の造立であり破損もなくよく保存されている。漆野区は古くから栄えていたもよう漆野観音などにまつわる伝説も残されており、信仰心の深い人々によつてかよくな石仏を残してくれたものと思われる。

県道南松野バス停から2km程西に入った山の中腹に位置する集落で、現在では数戸の人達が生活しており、古くからのしきたりを伝えている。 芦川守正



まちの指定文化財(五) 常盤家(小休本陣)の榎

天然記念物 マキ
昭和58年10月5日指定
指定番号13号
所有者 常盤 憲衛(上町) 型状等
根回り6.6m、目通り4.5m、樹高10m

岩淵村は当町に残された記録によれば、今から24年前の宝永4年(1707)、徳川幕府の命令によつて東海道付替と同時に、下屋敷付近から現在地に所替され、吉原宿と蒲原宿の間宿としての家並みが新しくできあがりました。小休本陣の常盤家も整備され、この時

このマキ(榎)も庭木として植えられたといわれています。ちなみに、常盤家の祖、常盤弥兵衛は、慶長7年(1602)岩淵村に富士川渡船役が命ぜられた折、渡船役入(渡船名主)として、齊藤縫左衛門、常葉伊右衛門らとともに河東(富士市)から現在地に移住したといわれています。

マキ(榎)は町の木に選定されており、その中でこの榎は最も古く、容姿も優れ、また、数百年の間小休本陣の榎として親しまれてきた大変貴重な木です。



戸籍の窓

S 59・3・1 31届出分
(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
相生町	高山朋子	正視 二女
堺町	岩本直子	雅則 長女
新町	北川 浩	眞澄 長男

一里塚



ある日曜日、待ちわびた春の光に誘われて、娘たちと一緒に野間農園の花市に出かけた時のことです。

限られた時間と予算を気にしながら、あわただしくあれこれときれいな花を選んでいたら、隣りあわせに女の子を抱いたお父さん、小学校一年生ぐらいで見たことのある男の子、おばあさんが楽しそうに花をながめていました。

「今日、そんなにたくさん花を買って、花屋さんになるんで

四十九町	田中温子	進	長女
大楽窪	佐藤由記	敬治	長女
本通三	太田圭美	一雄	長女
東町二	望月一由	正悟	長男
南町一	伊藤哲也	康市	長男
南町二	小林真実子	岩根	二女
富士見町	小林 豊	秀明	長男
八幡町	望月栄希	勇夫	三男

すか」声をかけられ、「あつ！

確かお宅は農協の上の方でしたね、子どもさんも大きくなりましたね」と会話がつづいたのですが、申し訳ないことに、その場ではとうとう男の子の名前が浮かんできませんでした。その子の名前が、一年前卒園した隣のクラスのM君だったことに気付いたのは、帰宅途中の車の中でした。

担任ではなく、直接話したこのない方と思いがけない温かい会話ができた今日の尊さに、「明るいあいさつ」から花言葉のひとつひとつが心に広がっていくようなさわやかな一日でした。

(茂美)

かなしみ

区名	氏名	年齢
新町本町	渡邊利子	六五
宮 町	池田喜久男	五九
小 池	加藤彰吾	四七
東町一	望月よし	九三
南町一	小林ヒサコ	七五
〃	森下昭夫	三八
八幡町	佐野敏雄	七〇
富士松野	佐野ハルエ	七五
俣下町	蓮池たま	八四

町への寄付金

(敬称略)

S・59・2・10 3・12	社会福祉事業費へ
望月 豊吉(東町二)	十万円
社会福祉事業費へ	十万円
石川 肇(四十九町)	

善意銀行へ寄託

S 59・3・6

二万二千三百円

望月 良吉(東町二)

社会福祉協議会

事業費寄付金

S 59・3・22

三万円

富士川町婦人会

お母さんの

知恵袋

ちよつと「ひと口」のカロリコーヒーや紅茶をよく飲む人は一日に10杯から10数杯。アメリカ人やイギリス人の話かと思っていたら日本でもそういう人がときたまみられます。一杯のコーヒーには一袋の砂糖(10グラム)を入れたとして10杯で100グラム、15杯で150グラムも砂糖をとってしまいます。その人は、400〜600カロリも余分に熱量をとっているのです。余分は皮下脂肪になって蓄えられるので、もし食事が十分なら、その砂糖の分の熱量は44〜66グラムの脂肪となって体にたまります。こういう方は、コーヒーや紅茶に砂糖を入れるのをやめたら、太りすぎを防ぐことができるはず。コーヒーの砂糖にかぎらず、うっかり食べたものの積み重ねで太りすぎる人も少なくありません。チョコレート3センチ角、キャラメル4個、ケーキ0.5個おまんじゅう0.5〜1個これすべて100カロリーの分量です。

太りすぎは健康によくありませんので注意してください。

富士川短歌会

3月詠草(天野寛選)

本通四	高橋 勝治
日清の戦の話を亡父して元治生	
れ兵はつよかりき	
小 池	中川しな子
庭土をいくつ盛り上げ冬眠にさ	
めしもぐらの動き出すらし	
新町本町	深沢千代子
ジャムナ河左岸遙かに夕ジマ	
ハール白き殿堂おぼろにかすむ	
相生町	藤沼 満
厨より出でし飯粒厳冬の庭先に	
まく日に増す小鳥に	
本町一	望月 録
遠き日の夢に睡らむさとの道に	
採り来し菜の花活けたる室に	
本通三	桐谷 静子
広隆寺の弥勒菩薩像に真向かい	
て思いなく涙溢れてやまず	
南町一	上野みつ子
孫達にせかされてゆく参道に梅	
三分咲く文珠様の庭	
坂 下	川口 久代
冬枯れの山のみ墓はなおさみし	
供えし花の黄の色鮮やかに	
舟山町	望月 八代
山蔭の村に尋ねし窯元の土を練	
る師に風花の舞ふ	
坂 下	植松 秀子
くちもるる艶歌一ふし感傷が過	
去呼びす枯草の径	